



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月12日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL https://www.valtes.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561
 四半期報告書提出予定日 2020年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,180	12.4	53	860.1	54	—	33	—
2020年3月期第1四半期	1,050	—	5	—	3	—	△4	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 33百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △3百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	4.85	4.81
2020年3月期第1四半期	△0.63	—

(注) 1. 当社は、2019年3月期第1四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2020年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式が存在するものの、1株あたり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,028	1,279	63.1
2020年3月期	2,089	1,246	59.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 1,279百万円 2020年3月期 1,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,376	3.7	43	△52.9	45	△49.6	28	△54.4	4.05
通期	5,632	15.5	428	33.3	432	33.8	287	28.3	41.58

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	7,150,000株	2020年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	234,243株	2020年3月期	234,200株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	6,915,767株	2020年3月期1Q	6,361,125株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（四半期決算説明会開催について）

当社は、2020年8月21日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた経済活動の自粛などの影響による景気の急速な悪化に伴い、先行きが不透明な状況にあります。

当社グループが関連する情報サービス市場では、これまで堅調に推移してきたIT投資の先送りなどの慎重な動きがみられますが、その一方で、新型コロナウイルス感染症対策としてリモートワークやテレワーク、クラウド環境の導入、IoT、AI、5Gなどのデジタルトランスフォーメーション(DX)に関連するIT投資が一層その存在感を強めております。

このような状況の下、当社グループの主力サービスでありますソフトウェアテストサービスにおきましては、情報サービス市場の成長と情報サービスに対する企業の品質意識の高まりを受け堅調に成長しております。一方で、IT技術者の不足が顕在化しており、高度なスキルを有するIT技術者の確保が重要な課題となっておりますが、当社グループの有するIT技術者の教育ノウハウにより、業界未経験者を短期間で戦力化する教育研修体制を構築するなど、採用と教育とを一体化した戦略により対処して参りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,180,825千円(前年同期比12.4%増)と堅調に推移し、在宅勤務により移動に係る交通費などの減少、人材採用に係る費用の一部が第2四半期に移ったことなどにより、営業利益53,928千円(同860.1%増)、経常利益54,110千円(同1345.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益33,510千円(前年同期は4,016千円の損失)となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大により案件開始の先送りなどの影響はありましたが、前期からの受注や既存顧客との取引拡大があり、外部顧客に対する売上高は1,099,331千円(前年同期比14.4%増)と堅調に推移しました。利益につきましては、在宅勤務により移動に係る交通費などの減少、人材採用に係る費用の一部が第2四半期に移ったことなどにより、セグメント利益は71,257千円(同124.1%増)となりました。

②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、セキュリティ・脆弱性診断に係る売上が前期から堅調に推移しており、外部顧客に対する売上高は81,494千円(前年同期比1.7%増)となりました。利益につきましては、採用や広告宣伝に係る費用が抑えられた結果、セグメント利益は6,038千円(前年同期は6,461千円の損失)となりました。

③オフショアサービス事業

当事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大によるロックダウンがフィリピンにおいて2020年3月中旬より継続され出社できる社員が制限された結果、当社からの取引は発生しておりますが、外部顧客に対する売上高は発生せず(前年同期は9,586千円)、セグメント損失は6,070千円(前年同期は3,454千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,662,200千円となり、前連結会計年度末に比べ83,905千円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金の減少143,130千円、現金及び預金の増加30,603千円によるものであります。固定資産は366,212千円となり、前連結会計年度末に比べ22,326千円増加いたしました。これは主に無形固定資産の増加43,217千円、繰延税金資産の減少20,049千円によるものであります。

この結果、総資産は2,028,412千円となり、前連結会計年度末に比べ61,579千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は737,389千円となり、前連結会計年度末に比べ94,326千円減少いたしました。これは主に未払法人税等の減少69,330千円、賞与引当金の減少43,480千円、未払金の増加40,864千円によるものであります。固定負債は11,258千円となり、前連結会計年度末に比べ383千円減少いたしました。

この結果、負債合計は748,647千円となり、前連結会計年度末に比べ94,709千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,279,764千円となり、前連結会計年度末に比べ33,130千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益33,510千円の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は63.1%(前連結会計年度末は59.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、本日「業績予想に関するお知らせ」を公表いたしました。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報や予測等に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	996,456	1,027,059
受取手形及び売掛金	690,857	547,727
電子記録債権	9,255	7,619
仕掛品	6,063	22,675
その他	43,472	57,118
流動資産合計	1,746,105	1,662,200
固定資産		
有形固定資産	119,274	118,873
無形固定資産	28,070	71,287
投資その他の資産		
繰延税金資産	119,524	99,475
その他	77,017	76,575
投資その他の資産合計	196,541	176,050
固定資産合計	343,886	366,212
資産合計	2,089,992	2,028,412
負債の部		
流動負債		
買掛金	125,755	91,065
短期借入金	94,000	128,000
1年内返済予定の長期借入金	19,935	12,186
未払金	263,541	304,405
未払法人税等	69,880	549
賞与引当金	104,070	60,589
受注損失引当金	—	791
その他	154,534	139,801
流動負債合計	831,716	737,389
固定負債		
退職給付に係る負債	—	696
その他	11,641	10,562
固定負債合計	11,641	11,258
負債合計	843,357	748,647
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	752,719	752,719
利益剰余金	407,511	441,022
自己株式	△5,292	△5,347
株主資本合計	1,244,938	1,278,394
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	1,696	1,370
その他の包括利益累計額合計	1,696	1,370
純資産合計	1,246,634	1,279,764
負債純資産合計	2,089,992	2,028,412

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
売上高	1,050,645	1,180,825
売上原価	784,346	904,818
売上総利益	266,298	276,007
販売費及び一般管理費	260,681	222,078
営業利益	5,617	53,928
営業外収益		
受取利息	1	1
助成金収入	2,422	—
為替差益	—	200
その他	62	327
営業外収益合計	2,486	529
営業外費用		
支払利息	324	272
支払保証料	478	75
株式交付費	3,553	—
為替差損	4	—
営業外費用合計	4,360	348
経常利益	3,743	54,110
税金等調整前四半期純利益	3,743	54,110
法人税、住民税及び事業税	518	549
法人税等調整額	7,241	20,049
法人税等合計	7,759	20,599
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△4,016	33,510
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△4,016	33,510

（四半期連結包括利益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△4,016	33,510
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	37	△325
その他の包括利益合計	37	△325
四半期包括利益	△3,978	33,184
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△3,978	33,184
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第1四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表の作成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響が、第3四半期連結会計期間以降に収束に向かい、経済活動が徐々に回復していくものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性の判断等の会計上の見積りを行っております。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束が遅延し、想定を超える需要への影響が生じた場合には、当連結会計年度における当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	960,918	80,140	9,586	1,050,645	—	1,050,645
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,697	8,242	1,144	11,084	△11,084	—
計	962,616	88,382	10,730	1,061,729	△11,084	1,050,645
セグメント利益又は損失(△)	31,802	△6,461	△3,454	21,887	△16,269	5,617

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△16,269千円は、セグメント間未実現利益の調整額△309千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△15,960千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,099,331	81,494	—	1,180,825	—	1,180,825
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	13,919	2,403	16,322	△16,322	—
計	1,099,331	95,413	2,403	1,197,147	△16,322	1,180,825
セグメント利益又は損失(△)	71,257	6,038	△6,070	71,225	△17,296	53,928

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△17,296千円は、セグメント間未実現利益の調整額△676千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△16,620千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。